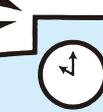


共に学ぶ



学校へ行こう

南部中

校長 小嶋 利之

全校生徒数 231人

男子:124人 女子:107人

問合せ ☎62-6811

「一流の南中生」をめざして

平成二十五年年度から、南部中学校では、「一流の南中生」をめざして学校生活を送っています。「一流」になるためにはどうしたらよいかということ、執行部を中心に具体的に考えました。そこで最初に、生徒会の三本柱の一つでもある「あいさつ」を一流にする取り組みを始めました。

南中ハチドリ運動

平成二十六年年度の南部中学校の生徒数は、二百八名でした。これは南部中学校開校以来、最も少ない人数です。そこで、平成二十六年年度の生徒会のスローガンを、「突き進め！一流への道 自ら輝け！208の声」とし、一人一人ががんばって声を出し、南部中学校を輝かせていくことになりました。

さらに一流に近づくために、生徒会活動で新たに作り組んだ活動が、「南中ハチドリ運動」でした。一人一人の力は小さいけれども、心を込めて取り組み続けるこの運動は、少しずつですが、確実に南部中学校を変え始めています。

執行部の生徒が、振り返りの作文に詳しく書いてありますので、紹介したいと思います。

生徒会の活動を振り返ってみると、一番印象に残っているのは、今年から新たに始めた「南中ハチドリ運動」です。

始まりは校長先生が朝会で話してくださいました、「ハチドリのひとつ」という物語がきっかけでした。前期執行部の人たちが、小さなことでも一生懸命大切にしようと思った運動で、最初は四十人程のハチドリ隊メンバーからスタートしました。前期執行部は、学校全体の雰囲気を変えて、後期にバトンを渡してくれました。

後期執行部は、ハチドリ隊だけではなく、生徒一人一人が、全員で小さなことを大事にして少しずつ一流に近づこうと、新たな取り組みを考えました。しかし、執行部はいろいろなことでも悩みました。それでも五人で、どうしたら南部中学校がよくなっていくか考えました。今年こそ南中を変えようと、強く思っていました。そこで、小さなことができるようになったら、形に表せるように、二階のミニライブ

ラリーの横の掲示を工夫しました。少しずつですが全校生徒が小さなことを大切にしようとしているのが感じられるようになりました。(生徒会執行部生徒の振り返りより)

生徒の足跡

南部中学校の職員玄関と二階ギャラリーには、「南中ハチドリ運動」の足跡が掲示されています。職員玄関には、文化祭で全校で制作した、ペットボトルキャップで作った二百八人の滴が展示されています。また、

二階のミニライブラリー横には、生徒一人一人ができるようになったことが、滴の形で集められています。南部中学校にお寄りの際は、是非ご覧ください。



「ほったたをさわっている自分」
【木版画】



5年 やまかわ さき
山川 紗季 さん

先生から 細かいところまでいねいにほれて
います。光の当たっているところと当たっていないところがよく分かります。



「やっと行けたよ」
【紙版画】



3年 いしはら わか
石原 和果 さん

先生から うんでいでやる気まんまんの表情です。手や足のポーズもいまにもうごきそうな、いきおいがあります。





『安全第一、品質第二』

職場体験実施日：平成26年6月11日・12日・13日



幸田中 3年
いちかわ だいき
市川 大樹 くん

僕が職場体験でお世話になつたのは、「MRC幸田」という浄水器を作っている会社です。初めに、工場内を案内、説明していただきました。工場には見たこともない機械がたくさん置かれていて驚きました。僕は、こんなに機械があつて危なくないのかなと思ひ、担当者の方に質問しました。すると、「うちでは、安全第一、品質第二」という言葉を大切にしているんだよ。」

僕は、工場だから物の品質が第一だと思つていました。しかし、それ以上に安全や働いている人の命を何よりも大切にしていくことが分かりました。だから僕も、「安全第一、品質第二

という言葉を意識して三日間を過ごしました。仕事の内容は、おもに浄水器の組み立てです。一日目は、モジュールという浄水器の本体となる部分を作りました。特殊な糸で作ったものを巻いてケースに入れるという作業をひたすら繰り返しました。二日目は、機械を使ってモジュールを浄水器の機械に詰める作業でした。この時に使った機械が、一番危ない機械だと思ひました。僕は、「安全第一、品質第二」という言葉を実感しながら作業しました。三日目は最後の工程の箱詰めでした。これでお店に出されちゃうので、緊張しながら作業しました。

三日間の体験を通して、「安



全」の大切さを教えていただきました。これから何をするときにも、安全に気を付けて活動していきたいと思います。

町民会館・図書館・町民プール
ハッピネス情報
ハッピーネス・ヒル・幸田
ホームページ
<http://www.happiness.kota.aichi.jp/>

読み聞かせステップアップ講座

「おじいちゃん、おばあちゃん、あつまれ〜!!!」
〜みんなで楽しく読み聞かせ〜 講義と実践の2回講座

- とき 第1回 6月2日(火) 午前10時~正午
第2回 6月4日(木) または6月9日(火) 午前9時30分~11時30分
- ところ 町立図書館 2階 学習閲覧室
- 内容 絵本や紙芝居などの読み聞かせ方。手あそび、わらべうたなど。
- 対象 どなたでも (大人向け) 定員 15人 参加費 無料
- 講師 松本 康子 氏 (図書館ボランティア)
- 申込み 5月2日(土) 午前9時から電話で受け付けします。
町立図書館 ☎63-0001

5・6月の休館日 (5/16~6/15)
町民会館 ☎63-1111 5/18(月)、5/25(月)、6/1(月)、6/8(月)、6/15(月)
図書館 ☎63-0001 5/18(月)、5/25(月)、5/29(金)、6/1(月)、6/8(月)、6/15(月)
町民プール ☎56-8111 5/18(月)、5/25(月)、6/1(月)、6/8(月)、6/15(月)



この本読みました

オムレツ屋へようこそ!

西村 友里 / 作・絵
国土社



幸田小 6年
みやした ゆう
宮下 優 さん

仕事のために世界中をたび回っているお母さん。一人残された尚子が不安で心配でたまらないとき、自分が入りこんだお母さんの写真を見て、愛されていると気づく場面が大好きです。はなれていても家族なんだと思いました。